E-Guardian News Release

報道関係者各位

2026 年 11 月 13 日

イー・ガーディアン株式会社

**総合ネットセキュリティ企業 イー・ガーディアン**

# 「SNS 流行語大賞 2026」ノミネートワード発表！

## ～「たまごっち」「ボンボンドロップシール」など平成リバイバルのワードや、「別班」「パンチくん」など幅広いジャンルで話題になったワードがノミネート！～

イー・ガーディアン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高谷 康久、以下「イー・ガーディアン」）は、X（旧 Twitter）上投稿をもとに 2026 年に話題となった言葉を独自に調査し、「SNS 流行語大賞 2026」（2026 年 1 月 1 日～2026 年 10 月 31 日）のノミネートワードを発表いたします。11 月下旬には、この中から大賞を含むトップ 10 と部門別ランキングを発表予定です。




イー・ガーディアンは、安心・安全なインターネット環境の実現に向け、投稿監視、ソーシャルリスニング、ネットパトロール、カスタマーサポート、デバッグ、脆弱性診断などネットセキュリティに関わるサービスを一気通貫で提供しております。日々のソーシャルリスニングで蓄積したデータをベースに、イー・ガーディアンが今年 X（旧 Twitter）上で広くつぶやかれたワードを独自で調査し、その年に最も多く投稿された（バズった）ワードを決める「SNS 流行語大賞」、2026 年度は上記の 30 ワードがノミネートされました。

2026 年度は「別班（VIVANT）」「悪役会議室（VIVANT）」といった、続編の放送をきっかけに話題になった TV ドラマ発のワードや、「なんとかなれーッ（ちいかわ）」のように人気アニメから広まったフレーズがノミネートされました。また、「りくりゅう」「ピックルボール」といったスポーツ関連のワードや、市川市動植物園の「パンチくん」も X 上で話題になりノミネート。

「びっくりした、〇〇かと思った」「#もう一度撮れと言われても撮れない写真」のように、自分の写真や体験を添えて誰でも参加できる“大喜利”型の投稿や、「ドパガキ」「フレネミー」「冷笑系」のように、今の自分や人間関係を一言で表す言葉が広がっていく SNS 特有の傾向は、今年も強まっていると考えられます。

そのほか、「たまごっち」「ボンボンドロップシール」など、昨年ノミネートされた「平成女児」に続く平成リバイバルブームの広がりや、「めじるしチャーム」「スクイーズ」「もっちゅりん」「ONICHA」といった話題の商品・グッズなど、多ジャンルから多彩なワードがノミネートされています。

なお、11 月下旬の SNS 流行語大賞の本発表時には、ゲーム・アニメ・食べ物などカテゴリ分けした部門ごとのランキングも併せて発表いたしますので、是非結果にご注目ください。

【参考】
「SNS 流行語大賞 2025」：https://www.e-guardian.co.jp/info/2025/20251127.html
「SNS 流行語大賞 2024」：https://www.e-guardian.co.jp/info/2024/20241128.html
「SNS 流行語大賞 2023」：https://www.e-guardian.co.jp/info/2023/20231129.html

**■イー・ガーディアン SNS 分析担当　コメント**

今年で 8 回目となった SNS 流行語大賞。2026 年のノミネート語はいくつご存じでしたでしょうか。今年もドラマやアニメ、スポーツなど様々なジャンルで盛り上がりがみられた一方で、写真に一言添えたり、〇〇を入れ替えたりと、誰でも気軽に参加できる“大喜利”のような投稿から広がった言葉が多いのが印象的でした。放送中のドラマについて X で考察し合う楽しみ方も広がり、作中の言葉が次々と話題になっていました。また、シールを交換したり、たまごっちを育てたりと、平成に流行ったものを今の楽しみ方で味わう姿が SNS 上で多く見られたのは、昨年の“平成女児”からさらに広がった新しい傾向かもしれません。

映画のあのセリフをまねた構文や、思わずポーズをとりたくなる楽曲のフレーズ、何年も前の動画から再発掘されたあの掛け声もノミネートされ、混戦が予想されます。今年 SNS で最も投稿されたワードは何だったのでしょうか？ぜひ皆さんも予想してみてください！

**■調査概要**

調査媒体：X（旧 Twitter）
調査期間：2026 年 1 月 1 日～2026 年 10 月 31 日
本発表　：2026 年 11 月下旬予定（大賞を含むトップ 10、部門別ランキング）

※X 上での話題量などをもとに選定したものであり、特定の個人・団体・作品・主張を評価したり支持したりするものではありません。
※各ワードの説明は、SNS 上での主な使われ方をまとめたものです。
※文中の商品名、会社名、団体名、作品名は、各社・各権利者の商標または登録商標です。

**【イー・ガーディアングループ 概要】**

1998 年設立。2016 年に東証一部上場。2022 年に東証プライム市場へ移行。イー・ガーディアンはネットパトロール、カスタマーサポート、デバッグ、脆弱性診断などネットセキュリティに関わるサービスを一気通貫で提供する総合ネットセキュリティ企業です。センターは、提携先を含めてグループで国内 8 都市海外 3 都市 18 拠点の業界最大級の体制を誇ります。昨今は Fintech・IoT 業界への参入や AI・IT 活用による DX 推進、セキュリティ関連サービスの拡充など、時代を捉えるサービス開発に従事し、インターネットの安心・安全を守っております。

**■イー・ガーディアン株式会社 会社概要**

代表者　　：代表取締役社長　高谷 康久

所在地　　：東京都港区虎ノ門 1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F

設立　　：1998 年 5 月

資本金　　：1,967 百万円（2026 年 9 月末日現在）

業務内容　：ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング/リアルタイム投稿監視業務/ユーザーサポート業務/
オンラインゲームカスタマーサポート業務/コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務/
コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務/人材派遣業務

URL　　：https://www.e-guardian.co.jp/